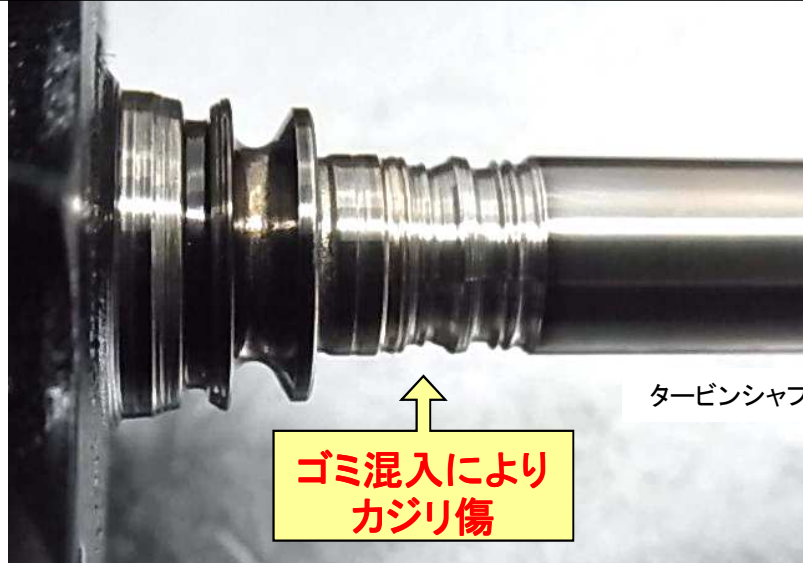


W04C・D エンジンのターボ不具合多発

販注4a 

対象車種 例

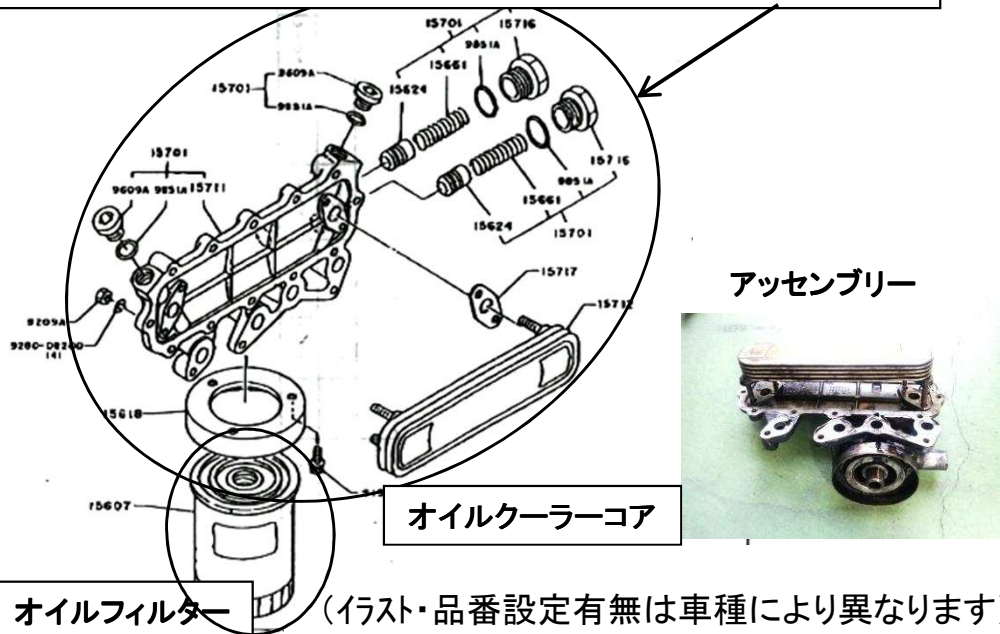
TR80 TR100 TR160 TR200 MR100 KR10 FD2 FF2



タービンシャフト軸受部

ゴミ混入により
カジリ傷

オイルクーラーアッセンブリー + オイルフィルター



アッセンブリー

オイルクーラーコア

オイルフィルター

(イラスト・品番設定有無は車種により異なります)

W04C,Dエンジン搭載のターボチャージャーで左写真のように、潤滑オイルにゴミ・金属粉が混入しジャーナルベアリング及びシャフトに傷が入りターボが破損する不具合が多発しております。

<必須 交換部品>

ターボ交換時 オイルフィルター・オイルクーラー(クーラーコア)アッセンブリー を必ず、新品と交換してください

オイルラインにゴミ・金属粉が残っていると、ターボ不具合は再発します

<潤滑オイルにゴミが混入する原因>

オイルフィルター交換の遅れによりフィルターが目詰まりしオイルバイパスバルブが開きフィルター内に溜っていた『ゴミ・金属粉』がオイルラインを巡ります。

<発生する不具合>

1. ターボチャージャー損傷(高速回転している軸受部にカジリ傷)。
2. オイルクーラーコア内のフィンにもゴミ・金属粉を残存させてしまいます。フィンに付着したゴミ・金属粉は清掃では取りきれません。(オイルクーラーコアはオイルクーラーハウジング裏面に取り付けられ、エンジンブロックのウォータージャケットに浸される形で取り付けられています。見逃しがちです)
3. オイルバイパスバルブのピストンボアが摩耗しピストンが傾く、もしくはゴミの噛み込みによりピストンは固着します。
4. オイルポンプ内にゴミが噛み込みギヤポンプ内部を損傷させます。(オイルポンプ内清掃)

<保証対象外>>

上記部品を交換していない場合は保証の対象とはなりません。

(同一理由「ゴミ混入によるカジリ傷」があるターボ不具合は保証対象から外れますのでご注意ください!!)

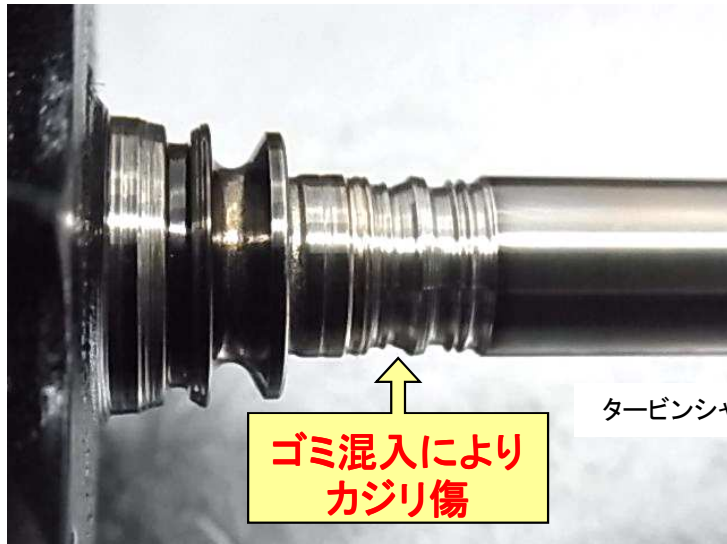
H07C・Dエンジンのターボ不具合多発

販注4b



対象車種

TR80 TR100 TR160 TR200 MR100 KR10 FD2 FF2



タービンシャフト軸受部

ゴミ混入により
カジリ傷

H07C・Dエンジン搭載のターボチャージャーで左写真のように、潤滑オイルにゴミ・金属粉が混入しジャーナルベアリング及びシャフトに傷が入りターボが破損する不具合が多発しております。

＜必須 交換部品＞

ターボ交換時 オイルフィルター ・ オイルクーラー(クーラーコア)
アッセンブリー を必ず、新品と交換してください

オイルラインにゴミ・金属粉が残っていると、ターボ不具合は再発します

＜潤滑オイルにゴミが混入する原因＞

オイルフィルター交換の遅れによりフィルターが目詰まりしオイルバイパスバルブが開きフィルター内に溜っていた『ゴミ・金属粉』がオイルラインを巡ります。

＜発生する不具合＞

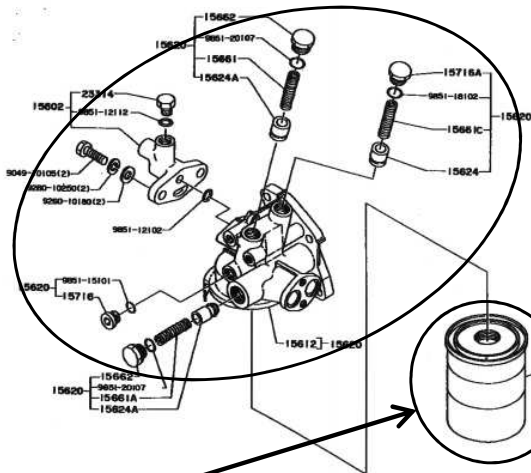
1. ターボチャージャー損傷(高速回転している軸受部にカジリ傷)。
2. オイルクーラコア内のフィンにもゴミ・金属粉を残存させてしまいます。フィンに付着したゴミ・金属粉は清掃では取りきれません。
3. フィルターヘッドに組み込まれている、オイルバイパスバルブのピストンボアが摩耗しピストンが傾く、もしくはゴミの噛み込みによりピストンは固着します。
4. オイルポンプ内にゴミが噛み込みギヤポンプ内部を損傷させる。
(オイルポンプ内清掃)

上記部品を交換していない場合は保証の対象とはなりません。

(同一理由「ゴミ混入によるカジリ傷」があるターボ不具合は保証対象から外れますのでご注意ください!!)

オイルフィルター(ヘッド)・オイルクーラーアッセンブリー

オイルクーラーコア



オイルフィルター

(イラスト・品番設定有無は車種により異なります)

